

中山の優しさを全国へ

〜今年の豪雪で学んだこと〜

昨年の年末年始、記録的な豪雪の中で起きた国道9号線の大渋滞。その中で渋滞に巻き込まれ困っておられた人たちへの心温まる地元の皆さんの救援活動。中山小学校の6年生は、この出来事を標題の劇にして学習発表会で熱演しました。

今回は中山小学校からの報告です。

【学習発表会の取組み】

6年国語の題材に、「ふるさとの良さを紹介しよう」という単元があります。学習の中



▲炊き出しのおにぎりを手に

で、昨年の正月の豪雪時、中山地区の方々から炊き出しや救援活動に取り組まれたことを挙げた児童がいました。そこで、その活動について詳しく調べ、学習発表会で中山の素晴らしさを発信することにしました。

まず、地域の方にインタビューをしました。児童は、救援に携わった方に話を聞き、豪雪の中で救援活動の大変さを知りました。また、その行動力に感動し、ふるさと中山の優しさを感じ取りました。

次に、劇に取り組みました。演出家の明正典子さんをゲストティーチャーとしてお招きし、演技指導を受けました。人々の思いをどのように伝えたらよいのかと児童は考えました。「うまい、今まで食べたどんなごちそうより一番うまいぞ」という炊き出しを食べた方の言葉には、飢えや寒さから解放された安堵感と、中山の人々への感謝の気持ちがあがえます。中山の人々の優しさ、温かさ、行動力に強く共感し、劇での演技となりました。

さらに、児童が皆で話し合って決めた「中山のみなさんの優しさ、温かさ、行動力は、私たちの誇りです。私たちが受け継ぎます。」という台詞は、「進んで行動したい」という決意がうかがえます。

小学校生活最後の学習発表会。児童は心を一つにして精一杯演じました。終わりにになりましたが、ご観覧いただきました皆さま、この学習や劇に協力してくださった皆さまに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

(6年担任 眞山仁美 塚田里美)

「大晦日から元旦にかけての豪雪時の体験」

アンケート調査報告書

中山地区人権・同和教育推進協議会地域部会では、本年度事業として、平成22年大晦日から元旦にかけての豪雪時に、国道9号の大渋滞で車中に閉じ込められた人々などに対する、沿線の住民や集落等による救援活動を中心として、国道9号沿線住民に対してアンケート調査を行いました。これをまとめて報告書として刊行しました。

本アンケート調査は、「地域住民による救援活動を、「人を大切にする、命を守る」ことをテーマとして、人権を守るための具体的な行動化を検証することを試みたものです。調査を進める中で、救助を受けた人々の「感謝」と救援活動をした人々の「感謝を受けとめる気持ち」が互いに響きあって「わが事としての向き合い」となっていることに気付かされました。今後の人権問題の解決のために、教育・啓発の推進に役立てたいと考えています。

また、中山小学校の学習発表会では、この調査結果をもとにして、6年生が劇「中山の優しさを全国へ」〜今年の豪雪で学んだこと〜を上演してくれたことも大切なつながりとなりました。



▶ 刊行された報告書